

# 第77回 人権週間

12月4日~10日

人権週間には、庄公民館ロビーに庄小学校・庄中学校の児童・生徒が描いた人権ポスター（R7倉敷市人権ポスター展入選作品）を展示しました。来館された多くの方に子どもたちのすばらしい作品を見ていただくとともに、人権の大切さを訴えました。



小2 平松 航さん



小4 八木 向日葵さん



中2 田谷 陸翔さん



中2 三宅 菜都さん



中3 小野 結衣花さん

## 優秀賞

中3 榎谷 怜音奈さん

※優秀賞に選ばれた榎谷さんの作品は、倉敷市立美術館に展示されました。



小6 和田 ひなのさん



小6 宮本 珠緒里さん

## 庄公民館人権教育講演会

9/27(土)

### 「論語から学ぶ人権」

講師 岡山県青少年教育センター閑谷学校  
次長 徳永 博文 先生

故きを温ねて  
新しきを知る



孔子は中国の魯国で紀元前 552 年に生まれたと言われています。

9月27日(土)、岡山県青少年教育センター閑谷学校の次長 徳永博文先生をお迎えし、人権教育講演会を開催しました。

閑谷学校は、350年前に庶民も学べる公立学校として、岡山藩主の池田光政によって創建されました。池田光政は、「国づくりは人づくり」という理念をもって、「人づくり」のための教育に力をいれました。そして、閑谷学校の教育の中心に置かれたのが論語でした。

「論語」は、孔子の弟子たちと孔子とのやりとりを弟子がまとめたものです。その中で、『子曰く、衆之を悪むも必ず察し、衆之を好むも必ず察す』を徳永先生が紹介されました。その意味は、「うわさ話から偏見をもち、差別につながることもある。ちゃんと自分で確かめ判断することが大切です。うわさを信じてはいけません」ということ。また、広く知られている、『己の欲せざる所、人に施すこと勿れ』は、『恕』＝「思いやり」という言葉とともに解説してくださいました。

「論語」は、わたしたちが身につけておくべき道徳や他との健全なつながり方を教えてくれます。どんな人にも、思いやりを忘れることなく接していくことの大切さを再認識させられました。



# 心さわやか 庄

第65号

発行  
令和8年3月1日  
庄中学校区  
人権学習推進委員会  
事務局  
倉敷市庄公民館  
倉敷市上東736-1  
TEL 462-5151

## 第12回人権フェスタ庄

を開催しました

～つなげようみんなの心 広げよう思いやり～



ノートルダム清心学園中学校・  
高校司会進行役



庄中学校ボランティア



庄中学校弁論



クムレグループ・いっほいっほ施設紹介



詳しくは中面をご覧ください

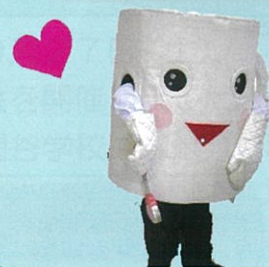
# 第12回人権フェスタ庄

10月25日(土)、庄公民館で「第12回人権フェスタ庄」を開催しました。このイベントは、「つなげようみんなの心 広げよう思いやり」をテーマに庄中学校区人権学習推進委員会が取り組んでいる事業で、子どもたちの健全育成と、福祉施設をはじめ障がいのある方への理解に重点を置いた「ふれあい・交流活動」です。当日は、庄地域の団体や施設のみなさんのご協力により、演技発表や作品展示、バザーなど様々な催しが行われ、多くの方にご来館いただきました。

## ステージ発表



## バザー・展示など



ステージ発表の司会・進行役をノートルダム清心学園中学校・高校から6名の方が務めてくださいました。また、ボランティアとして庄中学校から12名の方が、福祉施設のバザーや推進委員の仕事を手伝っていただきました。

今年も多くの方々に地域の子どもの健全な成長を紹介することができました。また、障がいのある方々との交流が進んだことで、障がい者福祉への理解を深めることができました。

ご観覧いただいた皆様、お世話をいただいた推進委員をはじめ各種団体の皆様、ありがとうございました。

# 手話教室・手話交流会 手話にチャレンジ!

7月19日(土)、庄手話サークルのみなさんにご協力いただき、聴覚障がいに対する理解と認識を深めていただく目的で、手話教室・交流会を行いました。子どもたちが手話に興味を持って楽しんで学べるように、手話サークルのみなさんが、工夫を凝らした内容を考えてくださいます。当日は、庄小学校、庄中学校の児童・生徒や保護者の皆様、教職員の方、地域の方々など39名にご参加いただきました。

初めに、指文字の学習資料を見ながら、ひらがな「あ」から「ん」までを教えてくださいました。そして、自分の名前の表し方に一生懸命、取り組んだあとには手話を用いて自己紹介を行い、じゃんけんが負けたらその人の後ろにつき、列車を作っていくゲームをしました。会場は、じゃんけんに勝った人も負けた人も盛り上がり、楽しい交流の場になっていました。次に、手話で「大きな古時計」を歌いました。手話サークルのみなさんが、お手本を手話で歌ってくれて、歌詞の言葉を手話でどう表すのか分かりやすく、ひとつひとつ教わり、みんなで一緒に手話で「大きな古時計」を歌いました。最後に、日常生活のあいさつの会話、「おはよう」「こんにちは」「おつかれさま」などを表す手話を教えてくださいました。

手話は、聴覚障がいのある方の大切なコミュニケーションの手段です。この会が、障がいのある方への理解を深め、あたたかい地域を作ることにつながっていくきっかけになれば幸いです。



～参加者の声～  
 ・ゲームを通して楽しく手話を覚えることができた。  
 ・参加して、興味が持てた。  
 ・指の一つ一つに意味があることがよく分かりました。



### 倉敷市手話言語条例とは…

手話は言語であるという認識の下に、市民の手話への理解の促進を図ることにより、地域における手話の使いやすい環境を構築することで、障がいのある人もない人も地域で安心して生活できる社会を実現することが、この条例の目的です。



## R7年度 行事予定一覧

### 研修活動

- ☆手話教室・手話交流会  
7月19日(土)
- ☆研修視察「渋染一揆資料館」他  
9月6日(土)

### ふれあい交流活動

- ☆人権の花いっぱい活動  
4月8日(火)  
7月4日(金)・10月
- ☆人権フェスタ庄  
10月25日(土)

### 啓発広報活動

- ☆人権だより「心さわやか庄」発行  
10月・3月
- ☆人権標語・ポスター展示
- ☆人権啓発のぼり旗設置
- ☆人権啓発グッズ配布

